

2021年10月15日

一般社団法人 電子情報技術産業協会  
事業推進部

## JEITA IoT向けエネルギーハーベスティングの動向と標準化セミナー

新型コロナウイルス感染症の流行により、経済や企業の取り組みが大きく変わりつつあります。ニューノーマル時代に様々な対応が求められる今、エネルギー供給の仕組みも変革を迎えています。

JEITAでは、将来のエネルギーハーベスティングに係る動向調査及び標準化を進めております。その活動の一環として、IoTのための独立電源としてのエネルギーハーベスティングに関する先端技術を俯瞰し、その現状と将来を議論することを目的に、昨年度より、「エネルギーハーベスティングに関する研究会」を発展的に、表記セミナーを開催することとしました。二年目となる今回も各分野の第一線で研究開発に取り組まれている方々にご講演頂き、さらなる議論を深めることとしています。

JEITA会員企業はもとより、本テーマに関心のある多くの方々に是非参加頂きますよう、ご案内致します。

日時：2021年11月18日(木) 13:00~17:10

- 公式サイト：<https://www.jeita.or.jp/form/custom/51/form>
- 主催：ナノエレクトロニクス標準化専門委員会／ナノ太陽電池標準化G
- 開催形態：WebEXによるリモート講演
- 参加費：3,000円（資料代・消費税含む）
  
- 申込方法：上記公式サイトからお申し込み下さい。  
お申込み頂いた方には、後日請求書を送付させていただきますので期日までにお振込下さい。  
また、資料及びWeb参加案内は、開催3日前を目途にご連絡致します。
- 申込期限：2021年11月12日(金)
  
- 事務局：一般社団法人 電子情報技術産業協会 事業推進部（布川・澤田）  
TEL 070-3297-8699 E-mail [k-fukawa@jeita.or.jp](mailto:k-fukawa@jeita.or.jp); [naomi.sawada@jeita.or.jp](mailto:naomi.sawada@jeita.or.jp)

## ■プログラム

### 13:00 【開会挨拶・趣旨説明】

奥 良彰 JEITA ナノエレ標準化専門委員会ナノ太陽電池標準化 G 副主査  
ローム(株) 研究開発センター

### 13:05 【DATA/IoT】「グローバルスタンダードでデジタル社会を実現するデータ戦略と標準」

眞野 浩 氏 一般社団法人 データ社会推進協議会 (DSA)  
専務理事 / IEEE P3800 DTS WG 議長

概要: DSA では、産官学の連携により分野を超えた公正、自由なデータ流通と利活用による豊かな社会(「データ社会」という)を実現し、国内はもとより世界と連携し貢献を図ることを目的として活動しています。この目的に向けた国際標準化活動の一環として、IEEE P3800 Data Trading System や欧州のFIWARE, IDSA, GAIA-X などとも連携を進め、ISO における Society 5.0 の標準化にも取り組んでいます。デジタル社会を実現する上で重要となるデータ戦略やこれを実践するための国際標準化、その活動と今後の展開について解説するとともに、JEITA 関係者の皆様との意見交換をおこないます。

### 13:55 【振動発電】「ウェアラブルデバイスのための環境振動発電デバイスの開発動向と国際標準化」

鈴木 雄二 氏 東京大学大学院工学系研究科 教授

概要: 最新のエレクトレット発電デバイスの状況も含め、ウェアラブルデバイスのための環境振動発電の開発動向について解説する。また、IEC(国際電気標準会議)における環境発電デバイスの国際標準化の取り組みについても紹介する。

### 14:45 【熱電発電】「熱電発電 EH の現状と課題および標準化の動向について」

山本 淳 氏 産業技術総合研究所 セロミッション国際共同研究センター 総括研究主幹

概要: 熱電変換を利用した EH は既にスマートウォッチ応用で一定の市場を開拓したと言えるが、体温発電や低品位排熱利用のさらなる市場獲得のためにフレキシブル熱電デバイスやパワーマネジメントの研究開発が活発化している。本発表ではこれらの最近の研究開発動向について概観し、また関連した標準化活動について報告する。

### 15:35 【光発電】「色素増感太陽電池のエナジーハーベスタとしての応用展開」

福井 篤 氏 シャープ(株) 研究開発事業本部 8K エコシステム開発センター 課長

概要: 弊社では、色素増感太陽電池の技術を元にした IoT デバイス・ソリューションの事業化に取り組んでいます。現状の技術およびビジネスにおける課題、評価法等の想定要件、最新の研究開発や事業化動向についてお話しする予定です。

### 16:25 【無線給電】「空間伝送型ワイヤレス給電の研究開発と法制化の現状」

篠原 真毅 氏 京都大学 生存圏研究所 生存圏開発創成研究室 教授

概要: 空間伝送型ワイヤレス給電は室内センサー等への無線給電システムが 2021 年度内に日本で商品が発売可能になるように法整備の準備を進めてきた。本講演では電波を用いた空間伝送型ワイヤレス給電の研究開発の現状を紹介するとともに、日本及び国際的な法制化現状について紹介する。